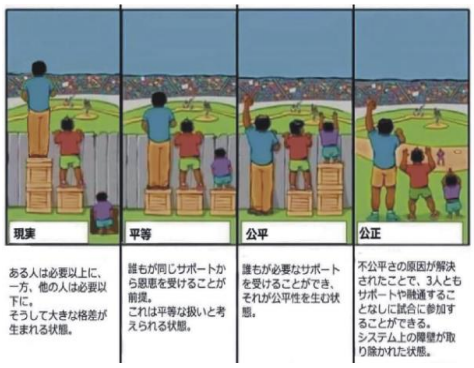
宝物はすぐそばに

校内研通信
第3号　　R7.7.7
発行者:校内研担当　仲村智

課題解決のソーシャルスキルを手に入れろ



７月４日（金）４校時、我が職員のトップバッター大谷翔平たる与那嶺匠先生が一人１研の先陣をきって３年１組にて社会の授業を公開しました。本時のねらいは、「効率」と「公正」の視点で「対立」を「合意」へと導く方法を理解することが目的です。皆さんは「平等」「公平」「公正」の違いが分かりますが？正直、３年１組さんの生徒以上に私自身が勉強になった、そんな授業でした。難しい１つ１つの語句の意味も、匠先生は分かりやすい図を用いたり、ドラえもんの例示などで生徒の理解を促し、自分なりの意見・考えを持たせるように工夫することで、授業後半の意見交流がスムーズにいくような仕掛けがうまく機能していたように思います。ワークシートの構成もそうですが、生徒が主体的に思考する授業の組み立てとしてとても参考になる授業でした。

匠先生素敵な授業をありがとうございました。

RS みいつけた！

最後に、本日の授業における RS（リーディングスキル）の育成という観点で授業を観たときの授業改善のポイントを確認します。

「具体例同定」の力を高める指導のあり方

各教科で指導される言葉について、その言葉が示す範囲や定義を使って読解したり、理解したり、説明したりするスキルを指す。このスキルを身に付けるには、ただ単に知識として理解させるだけでなく、知識を活用して、説明させたり判断させたりする学習活動を行わせることが重要である。

指導法　その１	各教科の学習において、示された事物や現象が、学習した言葉(定義)で表すことができるものであるかどうかを判断させ、説明させる。
指導法　その２	各教科の学習において、学習した言葉を使って、ある事物や現象を分類させ、説明させる。